

# e-Learning におけるログ情報を用いたプチ IR

林 敏浩  
T.Hayashi

(香川大学総合情報センター)

## 1. まえがき

近年、IR の観点から e-Learning のログ情報が注目されている。このような背景から種々の分析システムの検討が行われるようになった。本稿では少し視点を代えて大学の教職員が個人レベルで行う e-Learning のログ情報の分析について考える。このような取り組みを本稿では「プチ IR」と呼ぶ。本学のプチ IR として、Moodle からのログ取得と分析について著者の実践を事例紹介する。

## 2. Moodle からのログ取得と分析

Moodle における学習者の活動ログは、アクセスログを含む種々のログ情報からなる。ログ情報の取得から分析までは種々のパスがあるが、ここでは図 1 のような流れを考える。

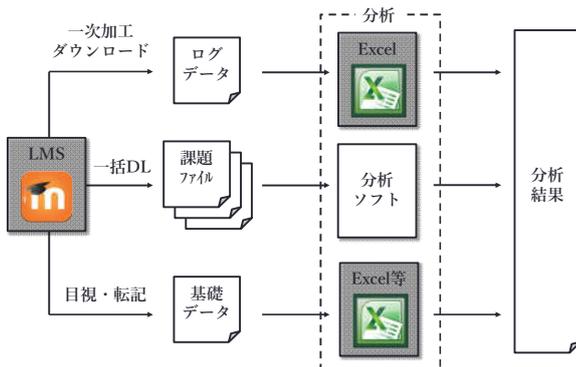


図 1 Moodle からのログ取得と分析の流れ

## 3. 分析例

ここでは、著者の実践として 3 種類の分析の概要について紹介する。

**Excel を用いた分析：**学習者の課題提出状況は全体履歴から条件検索で抽出できる。これを Excel の機能を用いて分析できる。図 2 は課題提出状況の分析結果をグラフ化したものである。

**フリーソフトを用いた分析：**ダウンロードした課題ファイルの一次チェックとして文字数の確認を行う場合があるが、ここでは、Jcount を使った文字数の確認の例を図 3 に示す。

**手作業による分析：**用途や状況に依存するが取得したログデータなど手作業（目視、転記など）で一次分析し、それを Excel などで加工することもある。図 4 はそのような方法で分析した例である。

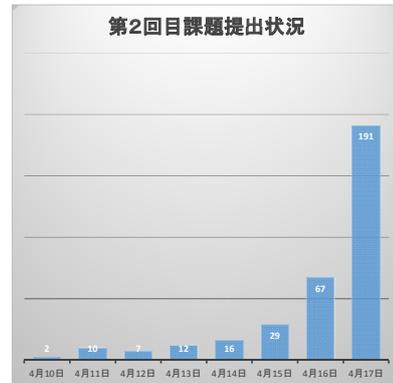


図 2 Excel で分析・グラフ化した提出状況



図 3 Jcount を使った課題ファイルの確認

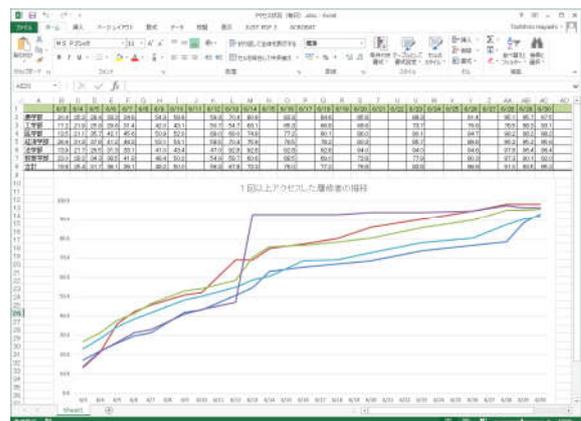


図 4 手作業+Excel での分析結果

## 4. まとめ

本学のプチ IR として、Moodle からのログ取得と分析について著者の実践を事例紹介した。紙面の関係で十分な記述ができていないが、ちょっとした分析（プチ IR）の参考になれば幸いである。